

サポート機関（小型・大型実験動物）



実験動物中央研究所 （実中研 CIEA）



機関長
伊藤 守

感染症研究に有用な
小型実験動物の開発と供給
に関するサポート機関

支援

1. 感染症モデルとなる実験動物系統の収集・保存、データベース化と公開、および供給
拠点の研究者が容易にアクセスできるデータベースを構築します。
2. 遺伝子改変動物の迅速な作製と供給
要望に応じて、多様な高度遺伝子改変動物を作製し、供給するシステムを構築します。
3. 支援のための新規技術の開発



高度化

1. ヒト肺マウスモデル※の開発
免疫不全NOGマウスの遺伝子改変により作成したマウスにヒト肺胞上皮細胞を生着させたマウスの作成を試みます。
2. ヒト肝臓マウスモデル※の開発
ヒト肝細胞とともにヒト免疫細胞を生着させた多重ヒト化マウスの作成を試みます。
3. 遺伝子改変マーモセットモデルの開発

※ヒト化マウス：免疫不全マウスにヒトの細胞・組織を生着させ、それらがヒト生体内と近似した機能を有するマウス



医薬基盤・健康・栄養研究所 （NIBIOHN）



機関長
保富 康宏

実験動物カニクイザルに
関するサポート機関

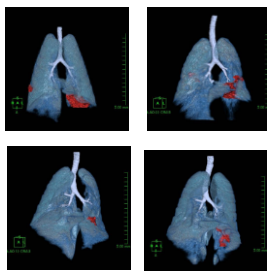
支援

1. 高品質カニクイザルの繁殖・育成
病原体を保持しないクリーンな（SPF）カニクイザルを繁殖育成します。
2. 研究基盤の構築・提供
これらカニクイザルを適切に研究に使用できるように健康維持、研究環境、適切な管理を行う整備を行い、ワクチン開発研究に提供します。



高度化

1. カニクイザルにおける病態解析
種々の病原体においてカニクイザルモデルを作製し、病態解析を行います。
2. ワクチン等の評価系の樹立と評価
カニクイザル感染モデルを用いてワクチン等の解析評価系を樹立し、適切な効果解析を行える基盤の構築と評価を行います。



滋賀医科大学 （SUMS）

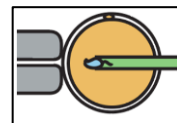


機関長
伊藤 靖

霊長類モデルを用いた
ワクチン評価に関する
サポート機関

支援

1. カニクイザルの人工繁殖・提供



人におけるワクチンの有効性を予測する試験に必要なカニクイザルを、人工受精により計画的に繁殖させ、ワクチン開発研究に提供します。

2. 感染実験の共同研究

フラッグシップ拠点・シナジー拠点の開発したワクチンをカニクイザルに接種し、感染予防効果を確認する実験を行います。

高度化

3. 重症化モデルサル作成

基礎疾患をもつ人に対するワクチンの効果の予測や有効なワクチンの開発のために、人の基礎疾患と同様の病態をもつサルを作製し、ワクチンの効果を確認します。



4. カニクイザルFSH/CGを使った人工繁殖

カニクイザルの人工繁殖を効率よく進めるための排卵誘発ホルモンなどの開発を行います。